

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書(要件1)

令和 5年 7月 14日

住 所：松山市東石井6丁目1-42
企業名：荒川電工株式会社
松山営業所
代表者：所長 西 恭寛

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

荒川電工株式会社はこれまで、太陽光発電事業などを通じて再生可能エネルギーの普及促進に努め、脱炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいりました。また基本方針として「Sustainable grow up & Going concern」を掲げ、持続可能な成長と企業継続に向けて新たな環境ビジネスにも取り組んでおります。

SDGs の達成に向けては国だけではなく、企業としての取り組み、貢献も必要であることを認識し、私たち荒川電工はSDGs の17の開発目標を2030年までにすべて達成することを目指します。

3側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組み	2030年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:R4年9月5日
○環境 ○社会 ○経済	フィリピンの無電化島に灯りをともすプロジェクトの立ち上げ(2022)	FIT 後の廃棄パネルをフィリピンの無電化島へ寄付・蓄電池と合わせて電気を使える環境を整える (2021年より毎年1件以上寄付する→2030年までに 合計10件以上)	2022年度太陽光発電+蓄電池システムを1件寄贈 (2022.9.20イロイロ州アホイ市役所に到着・プンタブリナショナルハイスクールに輸送)
○環境 社会 経済	カーボンニュートラルへの取り組み(2022)	・公共工事の請負全てカーボンニュートラルを達成 (2020年0%→2030年100%) ・社用車全てをEV車に (2021年17%→2030年100%) ・2030年までに会社全	・公共工事の請負全てカーボンニュートラルを達成(2022年度は元請工事50M円以上の工事を実施) ・社用車全てをEV車に(2022年20%) ・2022年度の使用量について調査中 ・2023年以降テクニカルセンターの自家消費太陽光導入を進める予定(2021→2022)

		体の使用電気を全て再生可能エネルギーに移行(2020年 0%→2030年 100%)	※数値は全社実績
環境 ①社会 経済	従業員の健康を重要な経営資源と位置付けて、経営者が健康投資や従業員の健康増進と会社の生産向上を目指す健康経営への取り組み(2022)	・生活習慣病予防健診(人間ドック)の35歳以上の受診率の向上(2020年 26.4%→2030年 100%)	・生活習慣病予防健診(人間ドック)の35歳以上の受診率の向上(2021年度 75.5%)

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。